

2025年度

株式会社カンダコアテクノ

運輸安全マネジメント

(事業年度 2025年4月1日～2026年3月31日)

1 輸送の安全に関する基本的な方針

- (1) 安全と生命は全てに優先する
- (2) 安全・確実・迅速の業務遂行
- (3) 安全管理体制と安全教育体制の強化

2 輸送の安全を実現するための体制

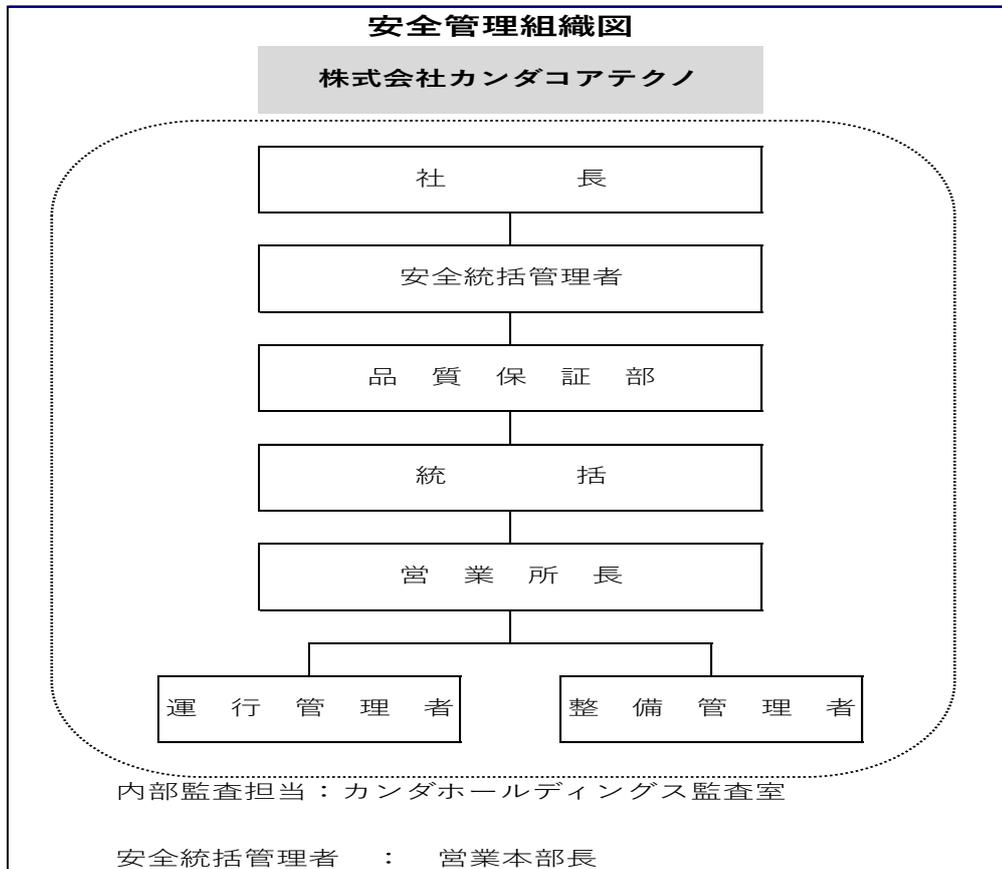
(1) 方針の周知方法

当社は、交通事故の未然防止と輸送の安全を実現するため、「貨物自動車運送事業輸送安全規則」および「貨物自動車運送事業者が事業用自動車の運転に対して行う指導および監督の指針（国土交通省告示第1366号※平成30年6月1日改正）」及び「自動車運送事業者における運輸安全マネジメント等の実施について（国官運安第156号※令和3年8月31日改正）」に基づき輸送の安全対策として年間教育計画を策定し、社内従業員への周知と教育を推進します。※地域によっては気候特性や特殊な交通事情等を鑑みて指導を実施します。

(2) 輸送の安全確保について

事故、災害、感染症などが発生した場合、輸送の安全確保が円滑に進むよう、各対策マニュアルに従い指示を行います。

(3) 安全管理体制



(4) 安全管理規程

[安全管理規程 \(PDFファイル\)](#)

3	<p>輸送の安全に関する目標</p> <hr/> <p>交通事故発生件数削減を実現する。</p> <p>(1) 2025年度 交通事故の削減目標 昨年度の交通事故発生件数10%削減</p> <p>(2) 重大交通事故 0件を目標とする。 (昨年度重大事故発生件数(第一当事者) 0件)</p>
4	<p>目標を達成するための計画</p> <hr/> <p>(1) 運輸安全マネジメントの内容周知を目的とした安全講習会を実施します。</p> <p>(2) 年間教育計画、年間整備計画を作成し基幹システムにて管理を行います。</p> <p>(3) 運行管理者・運行管理補助者を対象とした研修会を行います。(年3回、WEB併用)</p> <p>(4) 足利教育研修所を活用し新任運転者向け安全教育(延べ22時間以上)を行います。</p> <p>(5) カンダグループ運転ルールの定着確認および安全指導を実施します。</p> <p>(6) 運転免許保有者のSDカード(安全運転者カード)取得を継続します。</p> <p>(7) 安全性優良事業所認定(Gマーク)の取得を推進します。</p> <p>(8) 事故防止特別運動に参加し、運動期間中の事故発生件数0件を目指します。(年2回)</p> <p>(9) 全国交通安全運動期間に実施される交通安全運動に参加します。</p> <p>(10) 事故削減に向けた活動計画を営業所ごとに策定・実行し、他部署へ水平展開します。</p> <p>(11) 一般適正診断(シミュレーター:品管所有)を活用し、危険感受性の向上を図ります。</p> <p>(12) 働きやすい職場認定制度の認証を継続し、労働環境に起因する事故の防止に努めます。</p> <p>(13) 健康優良企業認定(銀)の認定を継続し、健康起因事故の防止に努めます。</p> <p>(14) SAS検査を活用し、生活習慣病予防と健康起因事故防止教育を行います。</p> <p>(15) コアテクノ独自のDVD教材・事故統計資料を営業所に向けて定期更新・配布します。</p> <p>(16) 東ト協グリーン・エコプロジェクトへの参加を継続します。</p> <p>(17) 交通事故防止のための5行動原則教育を行い、行動意識力の向上を図ります。</p> <p>もしかして : 危険予測(きけんよそく)</p> <p>とまる : 一時停止(いちじていし)</p> <p>みる : 安全確認(あんぜんかくにん)</p> <p>まつ : 安全確保(あんぜんかくほ)</p> <p>たしかめる : 再確認(さいかくにん)</p>
5	<p>前年度までの取組み</p> <hr/> <p>(1) 運輸安全マネジメントの内容周知を目的とした安全講習会を実施しました。</p> <p>(2) 安全性優良事業所認定(Gマーク)取得しました。</p> <p>(3) 運行管理者・運行管理補助者研修会を行いました。</p> <p>(4) 事故防止特別運動(夏季、年末)を実施しました。</p> <p>(5) 事故防止特別運動期間中に担当役員にて職場を巡回しました。</p> <p>(6) 運転免許保有者のSDカード(安全運転者カード)取得をしました。</p> <p>(7) クラウド型デジタルタコグラフの導入を推進しました。</p> <p>(8) 安全講習会を実施しました。</p> <p>(9) SAS検査および生活習慣病の重要性を指導し、健康起因事故の防止に努めました。</p> <p>(10) グリーン・エコプロジェクトに参加し、環境と安全を守るエコドライブ活動に努めました。</p> <p>(11) 動画KYT(危険予知トレーニング)システムを活用した安全教育を行いました。</p> <p>(12) 全国交通安全運動期間中の交通安全運動に参加しました。</p> <p>(13) 健康優良企業認定(銀)の認定を継続し、健康起因事故の防止に努めました。</p> <p>(14) 独自のDVD教材を配布し危険感受性の向上に努めました。</p>

6

## 事故に関する統計

## 自動車事故報告規則第2条に規定する事故に関する情報

自動車事故報告規則第2条に規定する事故

重大事故 0件

区分	件数	
	2023年度	2024年度
死亡事故	0件	0件
重傷事故	0件	0件
転落・転覆	0件	0件
車両火災	0件	0件
車両故障	0件	0件
鉄道車両接触	0件	0件
危険物	0件	0件
合計	0件	0件

7

## 輸送の安全に関する2024年度取組み状況

監査室による運輸安全マネジメントの調査（2024年1月28日）

調査報告（2月12日報告書受領）

「2024年度運輸安全マネジメントについて、ほぼ遂行されている。」

## 今期の反省

今期の傾向は、安全不確認、動作不適切、車両間隔不足を原因とする事故が多発。状況別では、場所別＝構内事故（5件）、形態別＝接触事故（7件）が、それぞれの最多を占める要因。初任教育の手法と同様に、反復行動（実車研修や座学研修）や事故防止活動を定着させることで予防できた事故が大半を占めていることから、原点に立ち返り教育手法を見直すことが必要であると今期を振り返り反省。

## 安全に関する目標達成状況

基本方針に基づく目標数値が明確に示されている。

交通事故の削減目標 昨年度の交通事故発生件数10%削減

目標8件 → 実績13件 未達成

（加須1件、三郷1件、花巻1件、ロジテクノ1件、江東1件、座間8件）

## 労働災害事故

目標2件 → 実績 2件 達成（座間1件、三郷1件）

## 8 輸送の安全に関するマネジメントレビュー

安全統括管理者（営業本部長）は、監査室からの運輸安全マネジメント調査報告を受け、マネジメントレビューを行った結果、以下に取り組むこととした。

2025年度

### (1) 事故防止活動の水平展開・平準化

- ①各営業所がそれぞれに取り組んだ事故防止活動を、翌週社内で情報共有すること。
- ②巡回指導計画の実施状況を予実管理すること。

### (2) 目標や対策への理解度向上

- ①年度会議を通じて、目標数値と事故防止策を従業員へ浸透させること。
- ②労使会議・研修会を通じて、目標達成状況や対策の効果を周知すること。

### (3) 健康起因事故・労働環境起因事故の防止

- ①働きやすい職場認定制度の認証を継続し、労働環境を改善すること。
- ②健康優良企業認定（銀）継続と健康起因事故防止教育を行うこと。
- ③SAS検査受診を積極的に促すことと生活習慣病予防の指導を行うこと。

### (4) 視覚教材による危険感受性向上

- ①コアテクノ独自のDVD教材と事故統計を作成し視覚教材を提供すること。
- ②一般適正診断（ドライブシミュレーター）を活用し教育すること。

### (5) 交通事故防止のための5行動原則教育を行い、行動意識力の向上を図ること。

- もしかして : 危険予測（きけんよそく）
- とまる : 一時停止（いちじていし）
- みる : 安全確認（あんぜんかくにん）
- まつ : 安全確保（あんぜんかくほ）
- たしかめる : 再確認（さいかくにん）

上記5項目に取り組めます。

## 9 輸送の安全に係る情報の公表

2024年度行政処分は受けておりません。

以 上